＜学校教育目標＞

心身ともに健全で　未来を築く　たくましい力をもつ生徒の育成

＜めざす生徒像＞

あ あいさつができる生徒　そ そうじができる生徒　ぶ 部活動・習い事を頑張る生徒
べ 勉強を頑張る生徒　し 進路を切り拓く努力をする生徒

きらめき

R8.11.2.発行

生徒数
合計234名
1年　76名
2年　75名
3年　83名

翔鶴祭

１０月１６日（金）に令和８年度翔鶴祭（合唱祭）が佐倉ハーモニーホールで行われました。すべてのクラスが歌声委員やパートリーダー、指揮者、伴奏者を中心に一生懸命に練習に取り組んだ成果を存分に発揮した歌声をホールに響かせてくれました。どのクラスも素晴らしい歌声でしたが、３年２組が最優秀賞、２年２組と１年１組が優秀賞に輝きました。

3年生学年合唱「草原の別れ」

１組「手紙～拝啓　十五の君へ～」
２組「証」　　３組「正解」

2年生学年合唱「翼をください」

１組「時の旅人」
２組「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」

1年生学年合唱「夢の世界を」

１組「COSMOS」
２組「キミのもとへ…」

特に、３年生の学年合唱曲、クラス曲はさすが最高学年と思わせる迫力ある歌声でした。１、２年生にとっては３年生の先輩たちの歌声から刺激を受け、憧れを持ったことと思います。この先もずっと、東中の歌声を繋いでいきましょう。

なお、最優秀賞の３年２組は１０月３０日（金）に佐倉ハーモニーホールで行われた一部会音楽発表会に出場し、東中の代表として素敵な歌声をホールに響かせてくれました。

佐倉東中学校 ～好学進取～

学校林整備

毎月／第２土曜日・第４日曜日【九時～十一時】に行っています。学校・ＰＴＡ・社会福祉協議会・地域住民で行うボランティア活動です。興味のある方、ぜひご参加ください！

令和８年度全国学力・学習状況調査結果について

４月２３日（木）・５月１日（金）に３年生を対象に実施された、全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省より公表されました。本校の結果及び今後の改善策についてまとめました。

＜国語に関する調査結果について＞

国語は全国平均を上回っている。「知識及び技能」の領域では助動詞や言葉の活用、漢字・語句の理解など、言語事項に関する基礎的な知識が着実に定着していることがうかがえる。また、「書くこと」の領域は、自分の考えや気持ちを表現したり、表現の工夫を捉えたりする力が比較的身に付いている。一方で、「読むこと」の領域は、文章の中心的な内容を捉えたり、語句の働きや表現効果を根拠をもって説明したりする問題に課題がみられる。さらに、記述式問題では、無解答率が高い問題も見られた。また、言語事項や書く力に強みが見られるが、文章を根拠に内容や表現の効果を読み取り、説明する読解力・記述力の向上が課題である。

＜数学に関する調査結果について＞

数学は全国平均を下回っている。基礎的な計算や情報の読み取りは概ね身に付いている一方、図形・関数・データ活用領域における活用力や、数学的な根拠を基に説明・証明する思考力・表現力の育成が大きな課題である。また、記述式の問題に苦手意識を持っていることが結果からも見られるため、授業では考え方を説明し合う活動や記述する機会を充実させることが必要である。

＜英語に関する調査結果について＞

英語を聞いたり読んだりして必要な情報を理解する力については概ね良好な状況にあり、特に情報を選択・判断する問題では高い成果が見られる。一方で、自分の考えや理由を英語で「書く」「話す」活動では、表現力や発信力に課題が見られる。聞くことにおいては、場面や状況を踏まえて内容を理解する力が身に付いている。読むことにおいても、複数の情報の中から条件に合う内容を選択する問題では高い正答率を示しており、必要な情報を探し出して活用する力が育っている。

また、書くこと及び話すことにおいて、自分の考えや理由を加えて表現する問題の正答率が低く、英語を活用して発信する力に課題が見られる。記述問題や発話問題では無解答率も比較的高く、英語で表現することへの不安や自信の不足も考えられる。

＜生徒質問調査・学校質問紙に関する調査結果について＞

本校の生徒は、学級風土や人間関係が良好であり、主体的・対話的な学習への意識や ICT 活用力も高い。これは、個別最適な学びと協働的な学びを推進するうえでの大きな強みである。

一方で、読書習慣や家庭学習習慣の定着、数学への苦手意識の改善に加え、教科書の文章や資料を正確に理解し、自分の考えを、根拠をもって表現する力のさらなる育成が課題である。今後は、北総教育事務所の重点目標を踏まえ、全教科を通じて「教科書の文章を正確に理解する力」の育成を図るとともに、ICT を活用した個別最適な学びと対話を重視した協働的な学びを一体的に推進し、確かな学力の定着を目指していく。

今回の結果及び分析については、本校職員全体で共有し、今後も子どもたちの更なる学力向上に努めて参ります。

なお、全国学力・学習状況調査の調査問題や解説資料、調査結果資料については、国立教育政策研究所 Web ページ（https://www.nier.go.jp/)に掲載されています。